

がん患者さんが住み慣れた地域で
過ごすことができる仕組みづくり——。

日時 2015年11月8日 日

13:00～16:00 (開場 12:30)

場所 仙台国際センター 2階 大会議室「橋」
(宮城県仙台市 青葉区青葉山)

対象

- がんの患者さんの療養支援について関心のある一般の方
- がん患者さんのご家族
- 医療従事者 ○ 介護福祉関係者
- 研究者 ○ 行政担当者 など

がん医療フォーラム仙台2015

がん患者と 家族の 療養を 考える

このフォーラムの内容

「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」を目指して、さまざまな取り組みが始まっています。

宮城県、仙台市近隣のがん患者さんの家族、東北地域の医療関係者、周囲の支援者、研究者が一堂に会し、「がん患者さんが住み慣れた地域で過ごすことができる仕組みづくり」の実現に向けて、療養する患者さんご家族を支える情報の共有と連携の必要性について議論します。

参加費
無料

要申込

あいさつ 片倉 隆一 (宮城県立がんセンター 総長) / 奥山 恵美子 (仙台市長) ※ 予定

第1部 基調講演 ※ 基調講演終了後に休憩あり

第2部 フォーラム

◎ 地域で療養するがん患者さんのご家族を支える情報とは

- がん患者さんご家族のための 在宅療養を支える情報づくり
渡邊 清高 (帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 准教授)
- 腫瘍内科医の立場から 薬物療法について
高橋 信 (東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 / 東北大学病院 腫瘍内科 助教)
- 在宅緩和ケアの現場から
河原 正典 (爽秋会岡部医院)

◎ がん患者さんご家族の療養を地域で支える

- それぞれの生き方 ～ホームホスピスにできること～
今野 まゆみ (ホームホスピスにじいろのいえ)
- 臨床宗教師の取り組み-理念と現状-
高橋 原 (東北大学大学院文学研究科 実践宗教学寄付講座 准教授)
- 寸劇 (がん患者さんの在宅での療養をテーマとした寸劇)
60歳からの楽しいクラブ活動(えずこホール)参加者の皆さん
仙南地区在宅ホスピスケア連絡会の皆さん
- ディスカッション

まとめ 森 隆弘 (東北大学大学院 医学系研究科 教授 / 先進包括的がん医療推進室 室長)

共 催 東北大学病院 / 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン / 地域におけるがん患者の療養支援情報 普及と活用プロジェクト

特別後援 公益財団法人 正力厚生会 / 読売新聞社

後 援 宮城県 / 仙台市 / 放送大学 / 宮城県医師会 / 仙台市医師会 / 宮城県歯科医師会 / 仙台市歯科医師会 / 宮城県薬剤師会 / 仙台市薬剤会

宮城県看護協会 / 宮城県社会福祉士会 / 宮城県介護福祉士会 / 宮城県ケアマネジャー協会 / 仙台ターミナルケアを考える会 / 河北新報社

協 力 株式会社オオノ ひかり薬局・プラザ薬局 / 仙南芸術文化センター (えずこホール) / 仙南地区在宅ホスピスケア連絡会

このフォーラムは、公益財団法人 正力厚生会の助成金が活用されています。